

講習・試験のデジタル化に関するカタログ掲載技術の応募 フォームにおける質問事項一覧

製品・サービス概要

1.企業名（正式名称）【必須】

（例）XXXXX 株式会社

2.法人番号【必須】

（例）8000012010038

3.企業の概要がわかるホームページ等の URL 【必須】

（例）https(:)//www.xxxx.xxxxx.xxxx

4.製品・サービス名【必須】

（例）XXXX ラーニングシステム

5.製品・サービスの概要紹介（簡潔に 100 字まで）【必須】

6.製品・サービスの概要がわかるホームページ等の URL 【必須】

（例）https(:)//www.xxxx.xxxxx.xxxx

機能 1. 受講の申込み・受講料の決済

7. 受講の申込み時に、本人確認を行う仕組み【必須】

受講の申込みや受講者情報の登録を行う際に、どのような方式で本人確認を行うことができますか。

- 容貌の確認：顔写真付き本人確認書類の画像と、受講の申し込みを行う者の容貌の画像を照らし合わせるなど、容貌も含めた本人確認を行うことができる
- 本人確認書類による確認：本人確認書類等による本人確認を行う仕組みはあるが、実際に受講の申し込みを行う者の容貌との照らし合わせなどを行う仕組みはない
- 仕組みなし：本人確認を行う仕組みはない
- その他（自由記述）

8. 受講料の決済【必須】

本製品・サービス上で、クレジットカードや QR コード決済などにより、オンラインで受講料・受験料を支払うことができますか。

- 決済機能あり：本製品・サービス上でオンラインで受講料決済を行うことができる
- 決済機能なし：本製品・サービスには決済機能はない（本製品・サービス外で決済を行う必要）

機能 2. 講習

9. 視聴方法【必須】

- ライブ配信
- 収録された動画の視聴（所定の日時に視聴する必要がある）
- 収録された動画の視聴（受講者が好きなタイミングで視聴することができる）

10. 受講開始時に、受講者本人であることを確認する仕組み【必須】

登録された受講者情報（顔写真、ID・パスワードなど）をもとに、登録された受講者と、実際に受講しようとしている者が同一人物であるか確認する仕組みがありますか。

- 顔写真による認証：登録された顔写真情報と、実際に受講しようとしている者の容貌を照らし合わせて、受講者本人であることを確認することができる
- ID・パスワードによる確認：受講にあたり、登録された ID・パスワードでの認証を求めることができる
- 本人であることを確認する仕組みはない
- その他（自由記述）

11. 講習に関する各種資料のダウンロード【必須】

- 資料のダウンロードができる
- 資料をダウンロードする機能はない（教材は別途受講者に共有）

12. 講習実施中に、カメラ等により受講状況を確認する機能【必須】

- カメラ等を活用したリアルタイムでの確認：常時カメラで受講者の受講状況を撮影し、リアルタイムで受講状況を確認することができる
- 文字列の入力等による一定間隔での確認：講習中に一定間隔で文字列の入力を求めることなどにより受講状況を確認することができる
- 証跡による事後的な確認：受講者の受講状況を撮影・録画したり、接続状況のログを確認したりすることなどにより、事後的に受講状況を確認することができる
- 確認機能なし：受講者側の状況を確認する機能はない
- その他（自由記述）

13. 不正受講対策の機能【必須】

- 離席検知：一定時間以上の離席を検知する仕組みがある
- 居眠り検知：居眠りを検知する仕組みがある
- 不集中検知：画面外を見ている、講義と無関係の操作をしているなど、講習に集中し

ていないことを検知する仕組みがある

- 講習受講に関係しない操作の検知：講習受講に関係しない PC 操作を検知する仕組みがある
- なりすまし検知：受講者以外の人間が受講していることを検知する仕組みがある
- 録画視聴の早送り防止：（収録された講義動画の視聴の場合）講義動画の早送り視聴を防止する仕組みがある
- 不正受講対策の機能はない
- その他（自由記述）

14.不正受講対策に関する技術の詳細について記載ください（自由記述）【必須】

上でご回答いただいた不正受講を防止する技術について、詳細を記載ください。

特に、「どのような不正受講について」、「どのような技術を活用して」、「どこまでの不正行為を」検知することが可能かといった点を具体的に記載いただくようお願いします。

また、これらの技術内容に関するエビデンス等が公表されている場合は、参考 URL 等の記載をお願いします。

（例）目線の動きを分析することで、PC の画面外を見ているなど、受講に集中していない場合に検知することが可能

--

機能 3. 試験

15. 講習の理解度を測るための試験を行う機能【必須】

試験を行う機能がない場合は次のセクションに進みます。

- あり
- なし

16. 試験方式【必須】

- 受験者自身のコンピュータ等を利用して在宅で実施する、いわゆる WBT (Web Based Test) /IBT (Internet Based Test) 方式に対応している
- 指定の会場でコンピュータを利用して実施する、いわゆる CBT (Computer Based Test) 方式に対応している

17. 回答方式【必須】

- 選択式
- 記述式
- 面接式
- その他 (自由記述)

18. 試験のタイミング【必須】

受験者が任意の時間帯に受験することが可能かご回答ください

- 受験者の任意のタイミングで受験できる
- 全受験者一斉に同時時間帯で試験を行う

19. 受験開始時に、受験者本人であることを確認する仕組み【必須】

登録された受験者情報 (容貌の情報、ID・パスワードなど) をもとに、登録された受験者と実際に受講している者が同一人物であるか確認する仕組みがあるかご回答ください。

- 顔写真による認証：登録された顔写真情報と、実際に受験しようとしている者の容貌を照らし合わせて、受験者本人であることを確認することができる
- ID・パスワードによる確認：受験にあたり、登録された ID・パスワードでの認証を求めることができる (容貌までは確認しない)
- 本人であることを確認する仕組みはない
- その他 (自由記述)

20. 不正受験対策の機能【必須】

- 離席検知：一定時間以上の離席を検知する仕組みがある
- なりすまし検知：受験者以外の人間が受験していることを検知する仕組みがある
- 解答作成以外の操作の検知：解答作成以外の PC 操作を検知する仕組みがある
- カンニング対策：目線の動きをモニタリングするなど、カンニング行為を検知する仕組みがある
- 音声の検知：第三者が口頭で解答を伝達するような行為を検知する仕組みがある
- テスト内容による不正対策：設問を複数パターンで設定できる、設問の順番をランダムに設定するなどの仕組みがある
- 不正受験対策の機能はない
- その他（自由記述）

21.不正受験対策に関する技術の詳細（自由記述）【必須】

上でご回答いただいた不正受験を防止する技術について、詳細を記載ください。

特に、「どのような不正受験について」、「どのような技術を活用して」、「どこまでの不正行為を」検知することが可能かといった点を具体的に記載いただくようお願いします。

また、これらの技術内容に関するエビデンス等が公表されている場合は、参考 URL 等の記載をお願いします。

(例) 目線の動きを分析することで、カメラの死角に置かれた参考書等を参照している、又は、カメラの死角にいる第三者からのハンドサインを参照している等の不正行為を検知することが可能

(例) 背後に複数の人物が映っている場合に検知することが可能

機能 4. 修了証の発行

22. 修了証の発行機能【必須】

受講修了したことや修了試験に合格したことを証明する証明書を発行することができますか。

修了証の発行機能がない場合は次のセクションに進みます。

- 機能あり
- 機能なし

23. 修了証の詳細について記載ください（自由記述）【必須】

どのようなかたちで修了証の発行ができるか、詳細を記載ください。

（例）修了時に、電子署名の付された PDF での修了証の発行が可能

（例）修了時に、オープンバッジの発行が可能

その他の情報

24.価格等の情報

価格体系や金額プランがホームページ等で公表されている場合は、当該ホームページのURLを記入してください。

25.システムトラブルなどに対応する機能

(例) 利用している Web 会議サービスで障害が発生したときは、別のウェブ会議サービスに切り替えられるようにしている。

(例) システムトラブルで受験ができなかった場合の再テスト機能がある。

26.講習等の実施者等との双方向のコミュニケーション機能【必須】

- 実施者等との映像・音声でのコミュニケーションが可能
- 実施者等とのチャットでのコミュニケーションが可能
- 実施者等とのコミュニケーション手段は提供していない
- その他（自由記述）

27.対応可能な規模【必須】

何人程度の規模の講習・試験に対応することができますか。

(例) 1万人まで受講者登録が可能。講習の同時視聴、試験の同時受験は1,000人まで可能

28.受講にあたり、受講者側の端末で導入すべきソフトウェア等の有無【必須】

- Zoom
- Microsoft teams
- Cisco Webex
- 導入が必要なソフトウェアはない（ブラウザで講習・試験が完結する）
- その他（自由記述）

29.個人データの保存場所【必須】

受講者情報などの個人データがどの国のデータセンタに保存されるかご記入ください。

- 日本国内のデータセンタ

その他（自由記述）

30.情報の取扱いに関する各種認定の取得状況【必須】

情報の取扱いやセキュリティ等に関する各種認定の取得状況についてご回答ください。

ISO/IEC 27001

プライバシーマーク

ISMAP（クラウドサービスに該当する場合）

その他（自由記述）

31.その他、製品・サービスに関するアピール事項等があれば記載してください。

--

導入実績

32.日本国内での導入実績【必須】

日本国内での官公庁、教育機関、企業等における導入件数、受講者数等の実績をご回答ください。

(例) 1000 社以上で導入、受講者数は累計 10 万人以上

33.官公庁が実施する講習での導入実績【必須】

官公庁が実施する講習での導入件数、導入分野をご回答ください。

(例) ●●資格の更新に関する講習など、約 100 件で導入

34.主な導入事例①【必須】

主な導入実績の概要についてご紹介ください（少なくとも 1 事例はご紹介ください）

①タイトル、②概要、③参考 URL（あれば）を記載いただくようお願いします

（記載例）

タイトル：●●県が実施する××の講習での活用

概要：●●県が実施する××講習では、講習のデジタル化にあたり、●●が課題とされていた。本サービスでは、××といった技術の活用により、●●に関する技術的課題を解決し、現在では、年間××人がオンラインで講習を受講している。

参考 URL（あれば）：<https://www.xxxx.xxxxx.xxxx>

35.主な導入事例②

36.主な導入事例③

問合せ先情報

カタログへの掲載および事務局との連絡に利用する連絡先をご回答ください。

37.問合せ先の担当部署・担当者【必須】

担当部署・担当者名どちらかの記載でも構いません。

38.問合せ先の電話番号

電話番号の掲載を希望されない場合は回答不要です。電話番号とメールアドレスの少なくとも一方をご記入ください。

(例) 03-XXXX-XXXX

39.問合せ先のメールアドレス

メールアドレスの掲載を希望されない場合は回答不要です。電話番号とメールアドレスの少なくとも一方をご記入ください。

(例) XXXXX@XXXXX

40.個人情報の取扱いへの同意【必須】

技術カタログへの登録における個人情報の取扱いについて（プライバシーポリシー）

<https://www.digital.go.jp/policies/digital-extraordinary-administrative-research-committee/privacy-policy/>

個人情報の取扱いに同意する